

服にも安全安心ってあるんやね

11月29日 枚方市・星ヶ丘地域活動委員会
 23名参加・星ヶ丘店組合員集会所



スクロール婦人服「ハッピーブライス」(1月2回に配布・注文有効期限2月3日) カタログが必要な方は配達担当者か、組合員サービスセンターまで(4面下)

「生産者・取引先様との交流会 in OBP」(2月25日開催)に参加しませんか? 詳細と申し込み方法は、今週配布の別チラシをご覧ください。スクロールさんもブースと、ステージのファッションショーに出展されます。



組合員活動のコーナー

柱にそって各地域で多彩なとりくみが行われています。その様子を紹介していきます。

組合員活動は「食」「平和」「環境」「くらし」の4つの

洋服や下着、靴、鞆などのカタログで、全国どこかの生協でもおなじみのスクロール(旧名:ムトウ)。星ヶ丘地域活動委員会が学習会と試着を行いました。企画を担当しているスクロールの森下さん

ん・丸尾さんと靴メーカーの錢さんによる学習会。中国の専用工場で作られた生協の靴が、実際に履いてみることで、どんなものが利用しやすいか、企画や試着も行い、組合員さんにモニター参加やご意見をいただいで、カタログに掲載さ

れます。製造工場では一般商品より厳しい日生活基準で生地の検査され、縫製の検品もされています。などの話を伺いました。



～ 岩手 被災地ボランティア活動 ～



N0.8

被災者に寄り添い、絆をつなげる支援活動を

被災から10カ月が経過し、被災者の皆さんはさまざまな思いを持って新しい年を迎えておられると思います。岩手県沿岸4市町をはじめ、ほとんどの被災自治体で復興計画がようやく出揃います。一方、延長されていた失業保険給付が切れることから「安定雇用」が被災地では大きな社会問題となっています。

このような状況のもと、ボランティアによる「見守り・ケア活動」とあわせて、復興計画につながる「雇用創出」の事業にもNPOとして取り組みをはじめています。

パルコプからの職員ボランティアが担う物資班は、まごころネットといわて生協と連携した「灯油支援」活動をはじめ、大阪の組合員さんからの願いをつなげる活動(冬物衣料をお届けしながら「見守り」)を3月中旬まで続けていきます。

<2011年12月21日現在>
 (NPO遠野まごころネットに常駐する事務局・林さんより)



東日本大震災「灯油支援募金」にご協力をお願いします

東北にくらし被災者にとって、「灯油」は欠くことのできない、いのちとくらしを守る生活必需品です。生活協同組合連合会コープ東北サンネット事業連合と遠野まごころネットから、灯油を被災者にお届けします。ひきつづき、この募金へのご協力ををお願いします。

「灯油支援募金」とりくみ期間・方法

- 共同購入・個配
 6ヶ注文欄に「001418」番と注文数(100円単位)をご記入ください。
 2月1回提出用OCR注文書(1/16～1/20配布)まで実施。
- 店舗・組合員会館
 ～1/31(火)まで、専用募金箱を設置
- 郵便振替でも送金可能です。
 (口座番号)00900-2-14876
 (加入者名)生活協同組合おおさかパルコプ
 ※通信欄に、必ず「灯油支援募金」と明記してください。手数料は各自ご負担をお願いします。

ボランティア活動に 責任と感謝をもって

5月からのボランティア活動は12月末までで合計29陣(のべ324名)になりました。活動している職員の毎日の感想レポートを抜粋でご紹介します。

【第2期第12陣】11月5日～11日

支所職員など14名(内よどがわ生協の方1名・ならコープの方2名)

斎藤さん(西成支所)、古山さん(寝屋川支所)、大村さん(港支所で天王寺区の配送担当)、窪田さん(住宅サービス)、有田さん(福祉)、山田さん(友・遊)、藤田さん(商品部)、河野さん(商品部)、秋山さん(商品検査室)、平手さん(理事会室)、日置さん(よどがわ生協)、高谷さん(ならコープ)、宇野さん(ならコープ)、氏原さん



当 氏原さん
 (11月10日金石市箱崎町、寝屋川支所で寝屋川市の配送担当)

がれき撤去隊の班長さんにお聞きした話です。「ボランティアが直していた海沿いの家のご家族から、『行政からつい最近その場所をもつ家は建てられない。堤防を作るから。』と言われ応じた」と。今まで直すのにくさんの人手や材木も使っているけど、みんなの為にと家を諦めたと聞き、辛くなりました。被災地の人は何回も希望や落胆を繰り返しているのだと思います。

【第2期第13陣】11月12日～18日

支所職員など8名(内ならコープの方2名)

小川さん(寝屋川支所)、佐敷さん(南寝屋川支所で門真市の配送担当)、長村さん(都島支所で都島区の配送担当)、岩崎さん(南寝屋川個配センター)、蒲生さん(理事会室)、池田さん(ならコープ)、吉村さん(ならコープ)、長尾さん



さん
 (11月17日、つるみ店の長尾さん)

ました。「今日は仮設住宅に支援物資が届くので、まけないぞう制作に手間取る」と物資を受け取れない」といって、少し悲しく感じ、何とかうまく物資を渡すことができないものかと思いました。まけないぞうを共に作ることは、いのちのケアであり、「コミュニケーション」にもなり、お金がいなくても、仮設住宅で孤独死や自殺された高齢の方は、周囲とのコミュニケーションが取れていなかったのかもしれない。それを少しでも「ゼロ」にしたいことになりました。

【第2期第14陣】11月19日～25日

支所職員など12名(内ならコープの方2名)



冬物衣料の絆繰をお届け。大槌町配達責任者の関さん(後列右端)と千葉さん(前列左)と一緒に。山根さん(都島支所で都島区配送担当・後列左端)、朝本さん(つるみ店・後列中央)、藤本さん(前列右端)

佐川さん(平野支所)、濱田さん(平野支所で四條畷市配送担当)、佐竹さん(共同購入本部)、池田さん(共同購入本部)、山下さん(店舗本部)、阪本さん(理事会室)、酒井さん(12年度採用予定)、西岡さん(ならコープ)、森内さん(ならコープ)、藤本さん、山根さん、朝本さん

仮設住宅に物資支援(組合員さんから協力いただいた冬物衣料のお届け)に行きました。「あの5月に避難所に来てくれた生協の人? いや、今ですつと続けて来てくれるんやねえ」と、すごく感激され深く頭を下げられました。地元の方物資配達責任者も、訪問した仮設の方々に「このゼッケン、コープのマークは忘れないでくれ」と言ってくれているそうです。すごく嬉しく、いろんな方たちの力で成り立っているこのボランティア活動に、責任と感謝を持って取り組みたいと改めて感じました。

クリスマスプレゼントが喜ばれています



陸前高田市の集会所へ行き、クリスマスセット(おもちゃ数点を箱に入れてお届け)を置いていただきました。

「小学生が帰ってきたら、ここでみんなで宿題したり遊んだりしています。でも集会所に遊ぶものがなくて暴れていたの、みんなで遊ぶおもちゃがあればすごく助かります」と自治会長夫人にお聞きしました。



(12月7日 共同購入運営部・白石さん:右から2人目)



みんなで遊ぶよ、ありがとう!



“お茶っ子”で楽しく語らうのは心のケアにもなります。この日はタコ焼き。

大船渡の仮設住宅の集会所で、まけないぞうを作り